



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月28日

上場会社名 広栄化学工業株式会社 上場取引所 大証二部
 コード番号 4367 URL <http://www.koeichem.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大庭成弘
 問合せ先責任者 (役職名) 経理室長 (氏名) 宮下和彦 TEL (03)6667-8281
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	13,773	0.0	271	803.7	226	—	145	—
22年3月期第3四半期	13,769	△21.6	30	△97.7	△135	—	△71	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	5.95	—
22年3月期第3四半期	△2.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	22,718	12,591	55.3	513.21
22年3月期	23,000	12,690	55.0	517.25

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 12,559百万円 22年3月期 12,659百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	9.00	9.00
23年3月期	—	0.00	—		
23年3月期(予想)				9.00	9.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	20,700	0.5	470	△11.1	430	26.1	280	23.7	11.44

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 ー社 (ー) 、除外 ー社 (ー)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無
② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期3Q	24,500,000株	22年3月期	24,500,000株
23年3月期3Q	27,716株	22年3月期	25,912株
23年3月期3Q	24,473,011株	22年3月期3Q	24,474,605株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1.	当四半期の連結業績等に関する定性的情報	P. 2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 2
2.	その他の情報	P. 3
	(1) 重要な子会社の異動の概要	P. 3
	(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	P. 3
	(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	P. 3
3.	四半期連結財務諸表	P. 4
	(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
	(2) 四半期連結損益計算書	P. 6
	【第3四半期連結累計期間】	
	(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 7
	(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
	(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年12月31日）におけるわが国経済は、期の前半は、中国・アジア新興国への輸出の増加や政府の経済対策の効果などにより、景気持ち直しに向けた動きが続きました。しかし、海外経済の停滞による輸出の回復ペースの鈍化やエコカー補助金終了による需要の減少、さらには1ドル＝80円台と15年ぶりの水準まで進行した円高などにより、秋以降、景気は足踏み状態となりました。

このような情勢のもとで、当社グループは、拡販および原料価格の変動に対応した売価是正に努めるとともに、生産性向上など全社を挙げて収益の確保に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期とほぼ横ばいの137億7千3百万円となりましたが、利益面におきましては、徹底したコスト削減に努め、営業利益は2億7千1百万円（前年同四半期比803.7%増）、経常利益は2億2千6百万円（前年同四半期は1億3千5百万円の損失）、四半期純利益は1億4千5百万円（前年同四半期は7千1百万円の損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

流動資産は、商品及び製品、原材料及び貯蔵品などが増加しましたが、受取手形及び売掛金の減少により、前連結会計年度末に比べ4億7千4百万円減少し97億5千3百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産の増加により、前連結会計年度末に比べ1億9千2百万円増加し129億6千5百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ2億8千1百万円減少し227億1千8百万円となりました。

（負債）

流動負債は、短期借入金が増加しましたが、支払手形及び買掛金、設備未払金及び賞与引当金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ1億2千4百万円減少し77億8千3百万円となりました。

固定負債は、長期借入金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ5千8百万円減少し23億4千3百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億8千2百万円減少し101億2千7百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、配当金の支払などにより、前連結会計年度末に比べ9千9百万円減少し125億9千1百万円となりました。自己資本比率は前連結会計年度末の55.0%から55.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、海外経済の停滞による輸出の低迷や円高、政府による消費支援策の反動減、内需低迷によるデフレ圧力の持続など、景気は足踏み状態で推移するものと思われれます。

このような状況に対し、当社グループは既存品の新規用途・新規顧客の開拓・拡販、新製品開発の一層の強化とスピードアップに努めるとともに、更なるコスト合理化を推進し、収益力の向上に全力を挙げて取り組んでまいります。

なお、通期の連結業績予想につきましては、現時点では、平成22年10月15日に公表いたしました数値から変更しておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行なう方法によっております。

2. 原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異等については、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産として繰延べております。

3. 税金費用の計算

当連結会計期間の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	256	221
受取手形及び売掛金	4,253	5,946
商品及び製品	3,320	2,498
仕掛品	697	723
原材料及び貯蔵品	910	618
その他	337	246
貸倒引当金	△21	△28
流動資産合計	9,753	10,227
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,715	4,828
機械装置及び運搬具(純額)	5,602	5,021
建設仮勘定	37	235
その他(純額)	524	565
有形固定資産合計	10,880	10,651
無形固定資産	47	52
投資その他の資産		
投資有価証券他	2,046	2,078
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	2,038	2,069
固定資産合計	12,965	12,773
資産合計	22,718	23,000
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,478	3,938
短期借入金	2,741	1,941
未払法人税等	103	67
引当金	4	126
その他	1,455	1,834
流動負債合計	7,783	7,908
固定負債		
長期借入金	337	468
退職給付引当金	1,548	1,601
その他	457	331
固定負債合計	2,343	2,401
負債合計	10,127	10,309

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,343	2,343
資本剰余金	1,551	1,551
利益剰余金	8,032	8,107
自己株式	△8	△8
株主資本合計	11,917	11,993
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	641	666
評価・換算差額等合計	641	666
少数株主持分	32	31
純資産合計	12,591	12,690
負債純資産合計	22,718	23,000

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	13,769	13,773
売上原価	11,254	11,094
売上総利益	2,514	2,679
販売費及び一般管理費		
発送費	413	448
給料手当及び賞与	580	569
退職給付費用	51	43
賃借料	94	90
試験研究費	686	617
その他	658	638
販売費及び一般管理費合計	2,484	2,408
営業利益	30	271
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	42	69
受取補償金	17	15
雑収入	12	22
営業外収益合計	73	107
営業外費用		
支払利息	20	21
為替差損	45	112
固定資産除却損	24	7
製造休止損失	126	—
雑損失	20	11
営業外費用合計	238	152
経常利益又は経常損失(△)	△135	226
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△135	226
法人税等	△50	79
少数株主損益調整前四半期純利益	—	146
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△12	0
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△71	145

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△135	226
減価償却費	953	1,156
有形固定資産除却損	17	2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6	△7
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△109	△53
賞与引当金の増減額(△は減少)	△134	△121
受取利息及び受取配当金	△43	△69
支払利息	20	21
売上債権の増減額(△は増加)	971	1,693
たな卸資産の増減額(△は増加)	549	△1,087
仕入債務の増減額(△は減少)	△172	△459
未払消費税等の増減額(△は減少)	8	△19
その他	225	△79
小計	2,144	1,202
利息及び配当金の受取額	43	69
利息の支払額	△20	△24
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△47	△42
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,120	1,204
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,538	△1,586
有形固定資産の売却による収入	2	—
無形固定資産の取得による支出	△7	△22
貸付金の回収による収入	3	0
その他	△27	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,567	△1,603
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	400	800
長期借入れによる収入	600	—
長期借入金の返済による支出	△130	△131
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△220	△220
財務活動によるキャッシュ・フロー	649	448
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△14
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	204	35
現金及び現金同等物の期首残高	368	221
現金及び現金同等物の四半期末残高	573	256

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結会計期間（自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日）
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）
該当事項はありません。